

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	17120	電話	042-769-8226
担当部課名	市民部	市民生活課	課	
事務事業名	自治会活動推進奨励金			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第7章	個性豊かなコミュニティづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	市民主体のまちづくり	63以前年度
施策名	第2施策	コミュニティ活動の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

自治会等活動推進奨励金交付要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
本市の重要な施策である「個性豊かなコミュニティづくりの推進」の一環として、相模原市自治会連合会と連携する地区自治会連合会及び単位自治会の運営の円滑化、並びに 同会相互の連絡・調整、意見の集約等、地域活動の推進を支援する	相模原市自治会連合会 (18地区自治会連合会 434自治会)
	対象数 452団体、159017世帯
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
自治会等活動推進奨励金73,685,600円	
交付額は、次により算出した額(100円未満の端数が生じたときは切り捨て額)	
交付額 = (地区割単価(293,400円) × 地区連数 + 自治会割額単価(30,840円) × 自治会数 + 世帯割額単価(346円) × 世帯数)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	自治会存在率	今年の自治会存在数 ÷ 昨年の自治会存在数 × 100	奨励金により自治会の運営がより推進されているため、その数に着目するもの。	101	100	100	100	100
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	平成12年度 決算	平成13年度 決算	平成14年度 決算	平成15年度 予算	平成16年度 予算(見込み)
人員・時間数	19人・215時間	19人・215時間	19人・215時間	19人・215時間	19人・215時間
人件費	895	895	895	895	895
その他経費					
合計	74,148	74,076	74,580	75,487	76,090
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	157,856	157,559	159,017	161,100	162,400
対象の単位あたり経費	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	主要な施策のひとつである「コミュニティ活動の支援」の一環として、自治会の円滑な運営及び活性化を図ることが地域コミュニティの活性化を促すことになり、結果として市民主体のまちづくりにつながり、多くの市民が満足感を得ることになると考える。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見、市が事業を行う必要がある 地域コミュニティ活動の活性化を図るために必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	「コミュニティ活動の支援」という上位の施策に対して、支援事業は有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	地域コミュニティ活動の推進のため、効率的に運用されている。
(5)公平性 評価 B ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	加入世帯に応じて奨励金が交付されているが、加入数の大小により交付額に大きな差が生じている。積算方法について見直しをする必要がある。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 現行の奨励金積算では加入世帯数の規模が大きいかほど奨励金の額が大きくなります。しかし、自治会は規模の大小に関わらず行うべきことがあること等も考慮し、積算方法の見直しが必要と考えます。	手段	積算方法の見直し
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 自治会は、これまで地域住民のためにその役割を十分果たしており、今後においても、パートナーシップの推進が図られる中で、自治会に対する期待は大きくなると考える。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

補助金のあり方、積算方法等について見直しを図ること
